

V2H-充放電器 SDシリーズ 停電時操作方法 TOYOTA 【FCEV】

・当該車両は停電時にのみ放電が可能です。また、自動で自立運転はご利用いただけません。

! 車両の故障につながる恐れがある為、V2H-充放電器に付属の12V電源ケーブルを使用しないでください。また、V2H漏電ブレーカON状態で車両と接続しないでください。

■ ミライ：～20年11月製造モデルのみ対象の項目を指します。

◆ ミライ：～20年11月製造モデルは対象外の項目を指します。

※車両側の詳細操作および注意事項につきましては、車両の取扱説明書をご参照願います。

1. 給電開始の手順

CHECK

- ・車両の「パーキングブレーキ」がかかっていること
- ・パワースイッチがOFFになっていること

1 「充放電コネクタ」を車両の「外部給電口」に接続する。

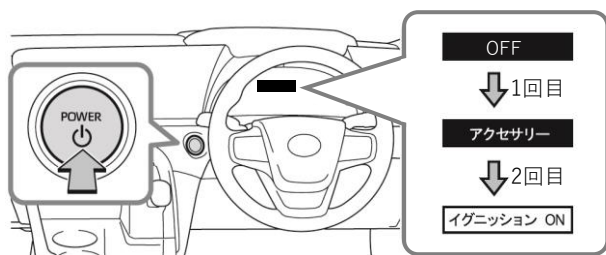
【参考図】



※「外部給電口（アウトレット）」の位置や名称は車両により異なります。詳細は車両の取扱説明書を参照願います。

2 「ブレーキを踏まず」に「パワースイッチ」をゆっくり確実に2回押し、「イグニッションON」にする。

【参考図】



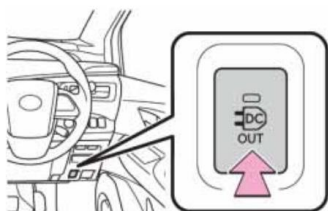
マルチインフォメーションディスプレイに「イグニッションON」が点灯していることを確認してください。

※イグニッションONの表示には「パワースイッチ」を2回押したあと数秒程度かかります。

※スイッチなど各機器の名称や位置等は車両により異なります。

◆パワースイッチの押下回数超過により、一旦「イグニッションON」となった後、「イグニッションON」が解除されることがあります。「イグニッションON」解除後、2分以上開けてからパワースイッチを再度操作してください。

■「DC OUTスイッチ」を押す。

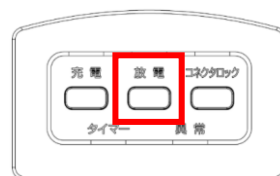


※右上へ

3 自立運転を開始する。

【プラグホルダ（操作パネル）の場合】

- ・プラグホルダの各LEDが点滅から消灯するまでお待ちください。
- ・消灯後、「放電」ボタンを押します。
- ・自立運転を開始すると、「放電」LEDが点灯します。



【室内リモコンの場合】

- ・「状態」画面でメニューアイコンをタッチします。
- ・「操作メニュー」で「放電開始」をタッチします。
- ・放電を開始すると、本体状態が「自立運転中」になります。



Point!

放電開始しない場合、パワースイッチを1回押下してイグニッションONを解除後、再度手順2から操作ください。

◆イグニッションON解除後、2分以上開ける必要があります。

◆車両のマルチインフォメーションディスプレイの注意画面を確認し、メーター操作スイッチ「OK」を押す。

【参考図】



給電状態が表示されます。

※スイッチなど各機器の名称や位置等は車両により異なります。

4 準備が完了し給電可能となる。使用する電気設備の電源を入れてください。

II. 給電停止の手順（停電中に運転停止する場合）

【プラグホルダ（操作パネル）の場合】

- ・「放電」ボタンを押します。
- ・「放電」LED が点滅します。
- ・自立運転が停止すると、「放電」LED が消灯します。

【室内リモコンの場合】

- ・「状態」画面でメニューアイコンをタッチします。
- ・「操作メニュー」で「停止」をタッチします。

【スマホアプリの場合】

- ・「コネクタロック解除」をタッチすると運転が停止し、コネクタロックが解除されます。

※「放電停止充電率」または車両が定めた充電率に達したときは、放電を自動で停止します。

III. 自立運転中、過負荷によりV2Hが停止した場合の復旧手順

- ・V2H-充放電器の定格電力「6kVA未満（片相3kVA未満）」を超えて電力を使用した場合に、給電が停止し停電状態となります。この場合、負荷を定格電力以下とすることで自動的に自立運転が復旧します。
- ・ただし、停止から数分（2～3分程度が目安）経過すると自動での復帰は出来なくなります。その場合は下記手順にて復旧準備を実施してください。

1 給電停止前に使用していた電気機器等のスイッチをOFFにする。

2 車両の「外部給電口」から「充放電コネクタ」を取り外し、再度挿し込む。

3 1. 給電開始の手順 ②～を再度行う。

4 **自立運転を再開**する。

※過負荷に注意し、電気製品のスイッチを入れてください。

IV. 停電終了（復電）時

- ・停電が復旧すると自立運転は動作を停止して、宅内には商用電源から電力供給されます。
- ・停電が復旧してから最大 5 分間は、「異常」以外の LED が点滅しV2H- 充放電器を操作することができません。LED が消灯したら、V2H- 充放電器を操作できます。

※FCEVは停電時のみV2H-充放電器との接続、放電が可能です。自立運転終了後は速やかに接続を解除してください。